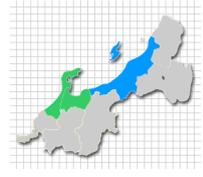




あっと

えいぜん通信@北陸



2004年夏号(創刊号)目次

- p2 話題 ・ ・ ・新潟第2合同庁舎の整備が進んでいます
- p3 施設整備紹介 ・ ・ ・金沢駅西合同庁舎の増築&金沢営繕事務所紹介
- p4 保全情報 ・ ・ ・建物の保全について
- p5 Q & A ・ ・ ・公共建築相談窓口について
- p5 情報ヘッドライン



新潟第2合同庁舎A棟 完成予想図

所在地 : 新潟市美咲町1-664-444外
入居官署 : 北陸地方整備局
新潟地方法務局バックアップセンター
構造規模 : 鉄骨鉄筋コンクリート造(免震構造採用)
地上8階建て
延べ床面積 庁舎他 約16,400㎡
工期 : 平成15年3月~平成17年9月

国土交通省北陸地方整備局営繕部

国土交通省北陸地方整備局金沢営繕事務所



新潟第2合同庁舎の整備が進んでいます



敷地周辺 航空写真

新潟第2合同庁舎は、新潟市内に散在する国の官署等を集約・合同化するもので、全体計画として庁舎5棟の建設と28官署1機関の入居を予定しています。合同庁舎計画としては日本海側では最大規模となり、北陸における新たな行政中核拠点となるものです。建設地は新潟県庁・新光町業務地区に隣接し信濃川に近接したところで、全体敷地面積は5.5haです。



新潟第2合同庁舎 全体計画図

整備目標は次のとおりです。

オープンスペースによる賑わいの創出や周辺環境に配慮したデザインとする。

高齢者・障害者はもとより、誰もが安全かつ快適に利用できる施設とする。

地震に強い免震構造の採用や大規模災害時のバックアップ機能を有する施設とする。

省エネ・省資源化を図るとともに自然材料やリサイクル材などの使用を推進する。



新潟第2合同庁舎A棟 工事中写真（6月末）

現在建設中のA棟は庁舎5棟のうち1棟目にあたるもので、昨年3月に発注し、6月末時点で鉄骨工事がほぼ完了しました。工事は来年9月の完成を目指して急ピッチで進めています。今後、現場見学会を適宜開催したいと考えておりますので、是非ご参加下さいますようお願いいたします。



金沢駅西合同庁舎の増築 & 金沢営繕事務所紹介

金沢駅西合同庁舎の増築工事は、平成15年8月に完成しました。

この増築工事は既に入居している石川労働局の総務部、労働基準部と民間ビルに入居していた職業安定部、雇用均等室の分散解消を図り、石川労働局の事務の集約・効率化、行政サービスの向上を目指し計画されたものです。また、併せて金沢駅西合同庁舎の効率的な使用を図るため、入居官署の使用調整（別に使用調整工事も発注）も実施し、別館（増築庁舎）の1階には名古屋入国管理局金沢出張所、2階には合同庁舎管理室、共用会議室、3階には金沢営繕事務所が移転しました。そして本館（本庁舎）の5・6階に石川労働局の全部署が入居しました。

外装は既存庁舎に色合わせした小口タイル貼り、屋上は環境に優しいアスファルト断熱防水工法を採用、窓は熱負荷低減のために熱線吸収のペアガラス窓、また、塗装や内装材等の建築仕上げ材にはホルムアルデヒド等の軽減認定品の使用を積極的に行い、環境及び人に配慮した建物としています。

金沢営繕事務所は北陸地方整備局で唯一の営繕事務所として、石川県及び富山県内にある官庁施設の営繕工事及び実地指導を行っており、長年？住み慣れた本館（本庁舎）6階から別館（増築庁舎）3階に移転したのを機に、これまで以上に街づくりに貢献する官庁施設の整備を目指し、地域との連携に取り組んでいきたいと考えています。



金沢駅西合同庁舎増築棟 北東面 外観



金沢駅西合同庁舎増築棟 南面 外観

金沢駅西合同庁舎増築棟 概要

所在地 : 金沢市西念3-4-1
増築棟入 : 北陸地方整備局金沢営繕事務所
居官署 : 名古屋入国管理局金沢出張所 ほか
構造規模 : 鉄筋コンクリート造地上3階建
延べ面積 : 988㎡
工期 : 平成14年9月～平成15年8月
(約11ヶ月)



保全情報・・・建物の保全について

国の建物を大切に使うためには

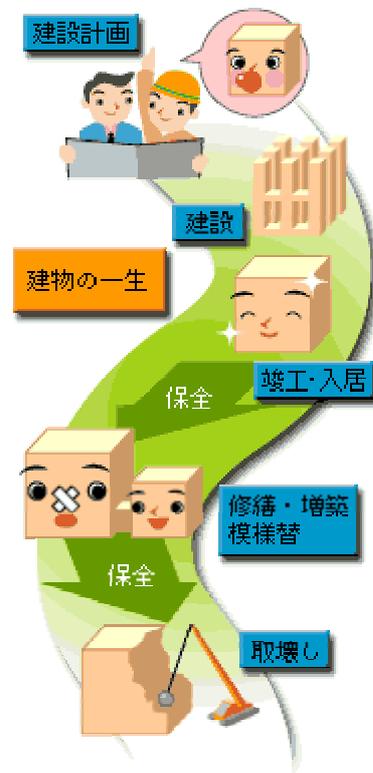
共有の財産として建物を大切に使うためには、適正な維持管理をすることが重要になります。正しい維持管理は、建物の寿命を延ばしたり、建物が完成してからの様々な費用の節約につながります。すでにいまある官庁施設については、建物の適正な「保全」を行うことにより、その機能の維持と耐久性の確保を図ることが極めて重要になります。

建物の「保全」とは？

建物を運用するために必要不可欠な電気・空調・水道などの設備の保守・点検や、清潔で衛生的な環境を維持するための清掃などをいいます。

「保全」の必要性

施設で働く人、施設を利用する人、その他すべての人が快適な生活を過ごすためには、適正な保全が必要となります。



適正に保全を行うと

安全性：定期点検の実施により安心できる執務環境を保ちます。

機能性：健康維持に必要な環境を保ちます。

経済性：適切な時期の修繕により、修繕費を軽減させます。

地球環境：適切なエネルギー管理により、地球環境に優しい施設とします。



Q&A・・・公共建築相談窓口について

Q：国土交通省北陸地方整備局には、庁舎等の公共建築の整備・保全（メンテナンス）等に関して、国・独立行政法人等の機関、地方公共団体等に対する相談窓口があるとのことですが、どのようなものなのでしょうか？



A：国土交通省北陸地方整備局営繕部では「公共建築相談窓口」を設置しております。この窓口は、新潟・富山・石川県内の国・独立行政法人等の機関及び県・市等の地方公共団体の方を対象として、公共建築に関する質問・相談等を受け付けるために設置したものです。庁舎等の新築・増築・改修等の整備に関すること、庁舎等の保全（メンテナンス）に関すること、国土交通省官庁営繕部で整備している各種基準類等に関すること、設計者選定のためのプロポーザル方式に関すること、シックコア地区整備制度に関すること、PFI事業に関すること等について、質問・相談等があればどうぞ御連絡ください。連絡窓口、電話番号、及び受付時間は右のとおりです。

公共建築相談窓口

北陸地方整備局 営繕部 計画課

TEL 025 - 266 - 1171（代表）

FAX 025 - 267 - 5041

北陸地方整備局 金沢営繕事務所 技術課

TEL 076 - 263 - 4585（代表）

FAX 076 - 231 - 6369

受付時間 午前9：00～午後5：00

（土日、祝日、年末年始を除く）

このQ&Aは、今後皆様からの質問・相談等を元につくっていきたいと考えています。質問・相談等ありましたら、どうぞ御気軽に「公共建築相談窓口」まで御連絡ください。



情報ヘッドライン

（北陸地域）

北陸地方整備局営繕部では季刊「えいぜん通信@北陸」を創刊しました。

6月18日、第9回公共建築賞優秀賞（北陸地区）伝達式が執り行われました。

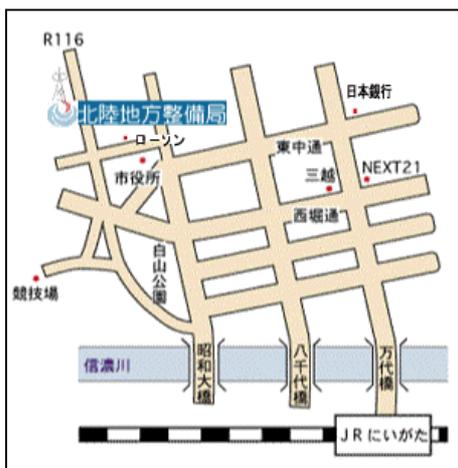
6月から9月にかけて北陸地方整備局では保全実態調査を実施しています。

9月3日（金）メルパルク新潟にて第22回新潟地区官庁施設保全連絡会議を開催します。

（全 国）

6月2日「建築物の安全性及び市街地の防災機能の確保等を図るための建築基準法等の一部を改正する法律」における「官公庁施設の建設等に関する法律」の一部改正等が官報に掲載されました。

毎年11月11日は公共建築の日、11月は公共建築月間です。11月29日（月）北陸では関連シンポジウム開催が予定されています。



北陸地方整備局 案内図



金沢営繕事務所 案内図



新潟第2合同庁舎（工事中） 案内図

平成16年8月発行 通巻1号（創刊号） ホームページアドレス <http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/>
 編集：北陸地方整備局営繕部 電話025-266-1171（代表）FAX025-267-5041
 金沢営繕事務所 電話076-263-4585（代表）FAX076-231-6369

えいぜん通信@北陸は、北陸地方整備局のホームページでも読むことができます。
 北陸地方整備局営繕部、金沢営繕事務所の業務全般に関しても、北陸地方整備局のホームページで紹介しております。どうぞ、御覧ください。